



たくましく 208号

ほんちょう保育園

園だより 8月号



令和8年8月1日
社会福祉法人 村山苑
東村山市本町 3-43-1
☎042 (399) 2100
園長 船木 芳枝

7月16日(木)17日(金)ほんちょう保育園の夏まつりをおこないました。幼児クラスのおみこや、みんなでの盆踊り、くすのき組の太鼓は子どもたちみんながくぎづけになっていました。子どもたちの笑顔に包まれた2日間でした。その数日後まつぽっくり、しいのみの子どもたちがケアセンターのお祭りにも参加させて頂きました。

「子ども同士の関わり」

乳幼児期の心の発達には、愛着の形成が大切です。ここで言う「愛着」とは子どもと保育士、他の友だちとの間に生まれる心の絆です。

愛着が形成されていくと、子どもたちの人に対する基本的信頼感が育まれ、その後の心の発達、人間関係に大きく影響してくると思います。大好きなパパやママからたくさんの愛情を受けることはもちろんですが、子どもたちをとりまく多くの大人との愛着形成ができると、次は子ども同士の信頼関係が形成されるようになります。子どもたちの発達には、大人との愛着形成はとても大事です。同様に子ども同士の信頼関係づくりや関わりも大切です。今回のおみこしづくりや、お店屋さんの品物づくりでも「どうやって作る?」「何がいる?」などたくさんの対話を行います。もちろん意見が合わず言い合いになることも。しかし、それを解決するのも子どもたちの力です。「ここを持って!」「大丈夫?」「できた!」と言いながら、子どもたち同士でお互いを認め合い、作り出す力が自然に形成されます。子どもたちは、できなくても隣にいる友だちの姿を見ながら真似をすることで理解することもあります。「大人ではできない特別なコミュニケーション力も持っています。子どもたちには互いに育ちあう不思議な力があるのです。子どもたちがこれから豊かなコミュニケーション力を高め、お互いに尊重し、多様性を認めながら成長するためにも、子ども同士の関わりを大切に考え保育を進めていければと思います。

船木芳枝



おたんじょうびおめでとう



8月生まれのお子さんと職員を載せています。

法人理念

村山苑が福祉サービスを必要とするすべての人々に、その人の人格の尊厳を守り、その人の環境、年齢および心身の状況に応じて本来的な生活を築き、生命の輝きを見い出すことのできる福祉サービスを提供することである。

ほんちょう保育園理念

「子どもを第一に。」 「子育て家庭をチームで支援します。」
「人と人との関わりを大切につなげていきます。」

引き取り訓練

9月1日は防災の日です。ほんちょう保育園では避難訓練後、引き取り訓練を行います。

16:00に「災害発生、お迎え要請」の連絡がコドモンで送信されますので、園からの連絡を確認してから、お迎えに向かってください。詳細は近くなりましたらお知らせいたします。



8月の予定

- 4日(火) 園医検診(0.1オクラス)
 5日(水) 避難訓練
 6日(木) 健康体育(1.2.5オクラス)
 13日(木) 健康体育(3. 4.5オクラス)
 18日(火) 園医健診(0.2オクラス)
 20日(木) 健康体育(1.2.5オクラス)
 27日(木) 健康体育(3.4.5オクラス)
 31日(月) 誕生会



年齢ごとのねらい

- ・夏のあそびを楽しむ。
- ・充分に体を使って遊ぶ。



<お願い>

- 延長保育を利用されている方延長保育料の引き落としが、8月27日となっております。前日までにご入金をお願いします。
- 幼児クラスの保護者の皆様副食費は、8月27日に引き落としがありますので前日までに入金をお願いします。
- お休みのご予定がある方は、コードモンにて欠席申請をお願いします。
- コードモンの出席申請の使用は、土曜日保育申請されている方



ケアセンターさんと交流



豊年太鼓
「ドンド ドーンコ ドンドン ホイサー」

夏まつりの後、くすのき組
5才児が自分たちで作った
お神輿と太鼓を披露しました。



「わっしょい！わっしょい！」



3.4才児が
盆踊りを披露

ケアセンターさんの
おまつりに参加しました。



「シール貼ってあげるね！」
「ありがとう〜」



「どのシールがいい？」



「シールーいっぱいだね！」

* 本文は保護者の方々の同意のもとに、個人情報の掲載をしています。